

福島へ「調査」に行く

写真は「3・11」震災後に、昭文社から緊急出版された『復興支援地図』。この地図を2冊買い求め、1冊を大学の山田ゼミ室において、ゼミ生らに見てもらった。この地図を活用して、被災地にボランティアに行った学生、女川や山元に通り卒論を書いたゼミ生などがある。私にとって思い出のある貴重な地図だ。

この地図には震災当時の津波浸水範囲、災害対策本部、避難所、道路通行規制、鉄道運休状況が表示されている。表紙からも、東日本大震災が関東から東北のいかに広範囲に及んでいるかを一望できる。

復興支援地図をずっと眺めながら、東北の被災地に思いを馳せてきた。学生たちからも刺激をうけ、地図を手に石巻や東松島、宮古（田老）、名取などを回り、講義や講演などで紹介してきた。残念ながら、福島には学会で福島大学に行った以外、歩くことができていない。今回、宮本憲一先生や若い人たちと、はじめて調査できることになった。レポートなどで紹介していきたい。

いわきに集合して、広野町、楡葉町、富岡町、浪江町などを駆け足で回る。東京電力福島第一原子力発電所も視察できるので、この目で事故現場のいまを確かめてきたい。福島県は北海道、岩手県について全国3番目の広さである。地図を見ても、その広さがわかる。復興支援地図から、いわき市から第一原発あたりを取り出してみた。

(2018年6月26日)

